

経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 舟形町

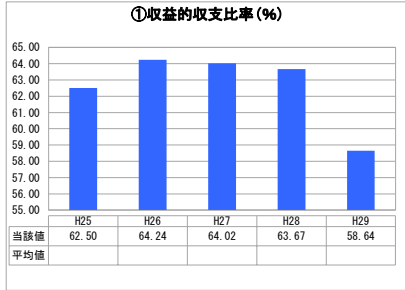
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	48.34	74.60	3.024

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,511	119.04	46.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,642	2.08	1,270.19

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



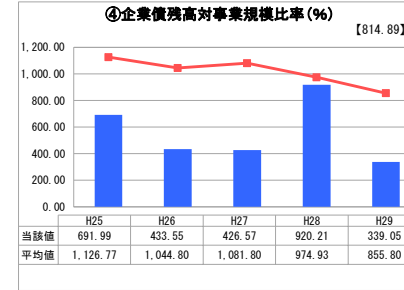
「単年度の収支」



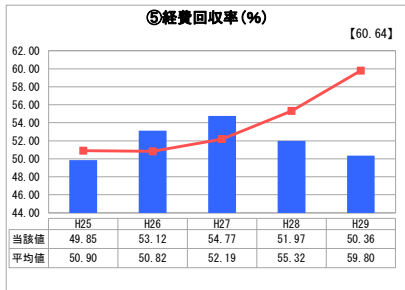
「累積欠損」



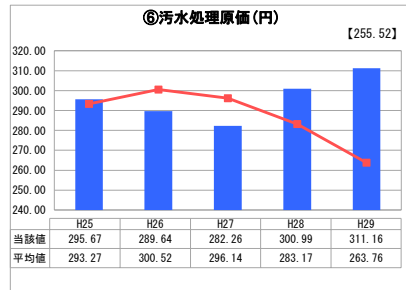
「支払能力」



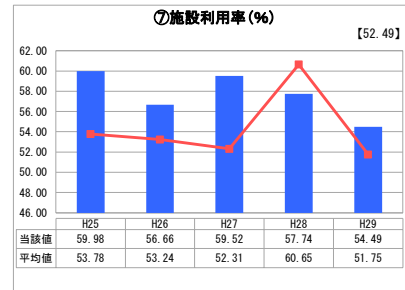
「債務残高」



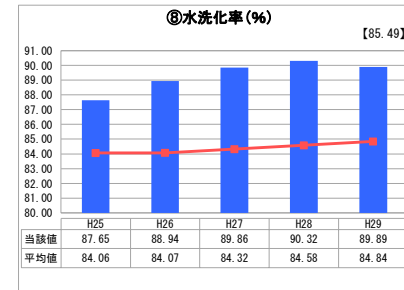
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

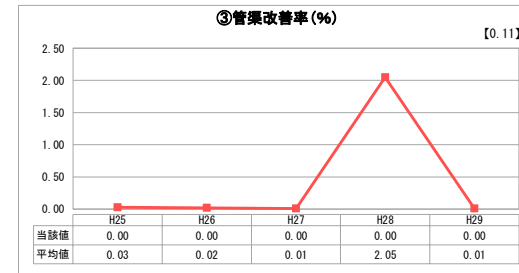
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率及び経費回収率については、人口減少による有収水量減少が著しく、老朽化等による経費増加もあって悪化している。
また、上記理由による収入減、支出増により、汚水処理原価も類似団体と比較するとかなり上回っている。
企業債残高対事業規模比率については、類似団体より低いが、今後老朽化対策の改築等で企業債が増加することが予想されるため、ストックマネジメント計画を策定し、計画的に老朽化対策を必要とする必要がある。
農業集落排水への新規接続も増加しているが、既接続の家屋老朽化による取り壊し件数も増加しており、伸び率は頭打ちとなっている。
施設利用率は、人口減少により低下してきている。
急激な人口増加や接続率増加が望めないどころか、人口減少に拍車がかかっている状況にあり、経費削減だけでは経営状況の悪化を防ぐことができないため、近々の料金改定が必要である。

2. 老朽化の状況について

本町では、町内5箇所に農業集落排水施設があるが、古いもので供用開始から25年が経過しており、耐久性の高い躯体、配管以外の機器類はかなり老朽化しており、故障頻度が高くなってきている。ストックマネジメント計画を策定している最中であるが、改修だけではなく、施設統合等により経費削減も視野に入れていく必要がある。

全体総括

年々、施設の老朽化による経費が増加しており、人口減少により料金収入も年々減少しているため、経営状態としては緩やかに悪化しており、多少の経費削減では維持経費すら一般会計からの繰入に頼らざるを得ない状況にある。
料金改定により収入を増やす以外は現状を打開する手立てが見いだせないことから、早急に使用料を見直す必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。